

「あこがれの自分を目指して ～共に歩む！一人でも翔ぶ！～」

平成29年度 柳津町立西山中学校

# 学校だより

平成29年6月30日(金)発行 第 14 号 発行責任者:高橋 弘悦

## 志賀さんデビュー

合唱の練習が佳境に入り、以前から伴奏をお願いしていた奥会津地域おこし協力隊の志賀さんと初めての練習会を行いました。

志賀さんもこの日を楽しみにしていたようで、楽しく練習会を行うことができました…と書きたいところでしたが、いつもより緊張して普段通りの声が出せなかったようです。

でも、練習を重ねていくうちに、徐々にお腹から声を出せるようになって、みるみるうちに見違えるような合唱になりました。

今後数回の伴奏合わせをして本番に臨みます。お忙しいところご協力いただいている志賀さんには心より感謝申し上げます。



### 2度目の読み聞かせです

テスト終了後にゆったりした時間を

…ということで、26日の集会では2回目の読み聞かせを行いました。この日の絵本は「おとうさんはわるものです」

お父さんの仕事を調べるために、こっそり後をつけて行ったら、悪役レスラーだった…というお話。リングの上では、お父さんが、卑怯な手で正義の味方を痛めつけ

る。観客はブーイングの嵐。やがて、正義の味方が反撃に出て、お父さんはやっつけられる。観客は大歓声。少年は、お父さんが大嫌いになり涙ながらに問いつめる。しかし、帰って行くお客さんの楽しそうな顔を見て、父親の仕事の本当の意味を知るのだった。

「パパは がんばって わるいことを しているんだ。 わかるか？」の言葉が目にしみました。



# 定期テストが終わりました

今年度最初の定期テストが終わりました。1年生にとっては初めての定期テスト…。さぞや緊張したことと思います。

各教科では採点が終わり、結果が返されています。満足のいく結果が得られた生徒がいる一方で、普段の様子から期待できる成果を上げることができなかった生徒もいるようです。先生方からは、「どうも家庭学習が十分になされていないようだ」という反省も聞こえてきます。「わかったつもり…、できるつもり…」になっていないか、また家庭学習の習慣を身につけて、内容をしっかり定着させる努力が必要のようです。



## 高校が変わる…？

平成32年に大学入試制度が大きく変わります。今の中学3年生が高校3年生の時にあたります。それに伴い、高校の授業も大きく変わろうとしています。「答えがあってればいい」という学習から、「説明する力」「学んだことをどのように表現するか、どのように活用するか」という学習習慣への転換です。

大きくは◆Point1：センター試験は廃止。新たに「**大学入学希望者学力評価テスト（仮）**」が導入される。◆Point2：「**高校生のための学びの基礎診断（仮称）**」が、高校生全員に課せられる。ということです。「私は大学に行かないから…」は関係なく、基礎診断の結果は就職試験の資料にも活用される可能性もあります。

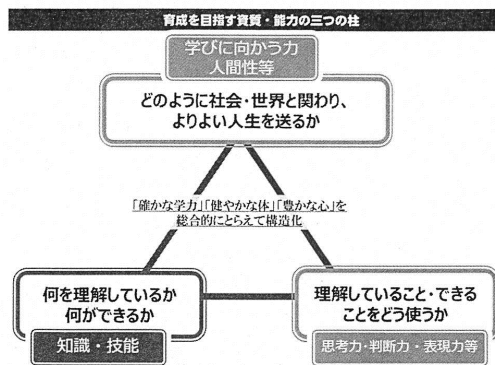
知識の暗記・再生が中心となるペーパーテスト対策から、真の「学力」を育成するための主体的な学びへと変わっていくでしょう。

特に、「自ら課題を発見し、答えが一つに定まらない問題に解を見出していくために必要な諸能力」が重視され、それらの諸能力を評価する作問が、各教科・科目について検討されています。また、他の教科・科目や社会との関わりを意識した内容など、教科を越えて知識・技能を活用することが求められる出題も想定されています。

また、**スピーキング（英会話能力）**が重視され、入試にも導入されると共に、**英検などの結果を英語の試験に代える**などの方式も考えられています。

西山中では、アントレプレナーで社会的な問題、答えのない課題に懸命に取り組んでいます。新聞も定期購読し、社会的問題への興味関心を高めています。奥会津セミナーでは、英会話の機会を設けます。あとは、それらの課題に全力で取り組むと共に、家庭学習の習慣を身につけることが本校生徒の課題でしょうか…。なお、現在の中学1年生が3年生の時に受験する**高校入試も、制度が大きく変わります**のでご注意を…。

34 次期学習指導要領で育成を目指す資質・能力の三つの柱



※ 文部科学省／中央教育審議会「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」より

「何ができるようになるか」=「育成すべき資質・能力の三つの柱」が肝要